

カラ・テパ遺跡発掘調査実現にむけて

カラ・テパは、ウズベキスタン共和国東南部、アフガニスタンに臨むオクサス川北岸のテルメズ西郊に位置する仏寺址で、1928年に初めて調査され、61年からは旧ソ連のB.Y. スタヴィスキーにより発掘が行われ、現在は同国科学アカデミー芸術学研究所のSh. ピダエフの主導の下、発掘調査が継続されている。砂岩層の三つの自然丘に営まれる8ヘクタールに及ぶ伽藍は、南・北・中区それぞれの丘麓に洞窟式の僧房を穿ち、前面の平地部に日乾煉瓦積のストゥーパや祠堂、イワーンのある中庭を構成する特異なプランを示す。出土のカロシュティー文字銘等から2～4世紀の造営とみられ、インド・イラン混成文化圏のクシャーン朝における仏教の様相を示す、重要な遺構として知られる。

立正大学仏教学部と文学部、並びに法華経文化研究所は、数年来仏教の東漸伝播に関わる歴史、文化の諸相解明を目的に、この地域での学術調査の機会を探ってきたが、今回関係者の努力が実り、同遺跡の未着手区域での発掘調査実現の機会を得た。計画では夏までに本学と科学アカデミー芸術学研究所間での合意文書の交換を終え、本年秋以降、5年ないし10年をかけ、共同で発掘調査を実施し、その成果が研究報告書にまとめられる。実現すれば、昭和42（1967）年以降8回にわたりネパール考古局と共同で行われた、ティラウラコット発掘調査以来のこととなる。

安田 治樹（法華経文化研究所長・仏教学部教授）



特色ある教育トピックス

立正大学仏教学部で学びませんか？ —今後の日程—

◎ AO 入試

「将来日蓮宗僧侶として歩むため、宗学科に入って日蓮教学を学ぶ！」

「世界の宗教文化や仏教思想を学びたい！」

「日本や世界の文化を深く理解し、調和的世界の在り方を模索したい！」あるいは、

「仏像彫刻にもチャレンジしたい！」といったような明確な目的意識を持った受験生の応募を待っています。

AO入試では、受験生の個性的な才能（資格、リーダーシップ）や高校時代の課外活動（スポーツ・ボランティア活動）の経験を高く評価し、

事前説明会・面談（必須）→ エントリー → 書類の審査（課題レポート含む）→ 面接試験

により、可否を決定します。

品川・熊谷の両キャンパスで開催する事前説明会のほかに、各地で、入試の説明と事前面談を兼ねた地方説明会を実施しています（7月下旬）。本年度の地方会場は、札幌、仙台、大阪、岡山、福岡、新潟となります。

6月中旬に『AO入試要項』を発表する予定です。入手希望の方は仏教学部事務室までご連絡下さい。

◎平成26年度のオープンキャンパス（学内見学会）開催日 高校1・2年生の参加も歓迎します。

スタート！オープンキャンパス 品川・熊谷キャンパス 同時開催 6月8日（日）

夏のオープンキャンパス 品川キャンパス：7月27日（日）、8月23日（土）、8月24日（日）

熊谷キャンパス：8月3日（日）、8月17日（日）

★7月と8月のオープンキャンパスでは、AO入試の説明会と個別相談会を実施します。

8月の品川キャンパスのオープンキャンパスは、2日間連続（土・日曜日）で開催します。両日とも学部専用ブースが用意され、在学生に大学生活を聞くことができます。大学の雰囲気を存分に味わってください。

入学・受講最新情報